

# 2015 年度事業報告

2015.4.1～2016.3.31

## 特定非営利活動法人アレルギーネットワーク京都ぴいちゃんねっと

〒604-8273 京都市中京区姉西洞院町 542 サンフィールドビル 3 階

TEL&FAX (075) 252-5088



いつも、ぴいちゃんねっとの活動を支援してくださいまして、ありがとうございます。2015 年度の事業報告をお届けします。

ぴいちゃんねっとは、2005 年 4 月に任意団体としてスタートしました。以来、多くの方々に支えられて、食物アレルギーの子どもと保護者を支える活動に取り組んできました。この 10 年間、本法人が活動続けることができましたのも、ひとえにかかわってくださった皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。

昨年度は、「パナソニック NPO サポートファンド」からの助成をいただくことができました。また、内閣府の「平成 27 年度子供と家族・若者応援団表彰」におきまして、「内閣府特命担当大臣表彰（子育て・家族支援部門）」の受賞という機会に恵まれました。私たちぴいちゃんねっとの活動が、社会的にも評価されたこととなります。

もちろん表彰は、あくまでも結果であって、目的ではありません。10 年を経た今、改めて設立当初の理念に立ち返り、当事者に寄り添い、当事者とともに歩んでいくという思いを確認、共有しながら、新たな気持ちでそれぞれの事業に取り組んで行く所存です。

皆さまの一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2016 年 5 月 理事長 空閑 浩人

# サポートデスク

2015年度で3年目を迎えたサポートデスクは、つどいの広場（京都市子育て支援活動いきいきセンター）との併設となりました。これまで、食物アレルギーの子どもや保護者の当事者対象のセーフティネット事業として、講座や交流のプログラムを実施したり、日常生活やメンタル面への相談の対応を行ってきましたが、それに加えて地域社会に「食物アレルギー」を周知する社会的理解への場としての役割も担うことになりました。

サポートデスクは、毎週月曜日と水曜日から土曜日の10時から16時に自由にご利用いただけます。日によっては、講座やイベントを開催しています。また、いきなり大勢の子どもや保護者の中に入ることが辛い方には、「ふわふわぼっぼ」（※1）という、予約していただくと1組から利用できる日も設定しました。ゴールデンウィーク前には新たな場所へと引越しをし、スペースも広くなり、保護者対象の講座の時に保護者と子どもが同一フロア内で、お互いの気配を感じながらそれぞれの時間を過ごせるようになりました。

そして9月から10回シリーズでスタートした「アレルギーの学び舎」では、少人数での企画にしたことから、回を重ねるごとに子ども同士、保護者同士の交流も深まりました。2月の最後の講座の時には、「このまま集まれなくなるのは寂しい」と声があがり、修了生の保護者が主体となったサークル「Love ぼっぼ」も誕生しました。少しずつぴあサポートの形ができてきている様です。

|     |                                 |   |
|-----|---------------------------------|---|
| 4月  | 3日<br>4日<br>10日・15日             | お花見ランチ（京都御所）<br>石井食品(株)新商品試食会<br>食物アレルギー相談日                     |
| 5月  | 13日<br>20日<br>8・15・22・27日       | 辻安全食品(株)ライスヌードル試食会<br>公園で遊ぼう（本能公園）<br>食物アレルギー相談日                |
| 6月  | 5・12・19日<br>26日<br>27日          | 食物アレルギー相談日<br>炊飯器で米粉パン作り&試食会<br>(株)濱田商品開発モニター                   |
| 7月  | 3・8・15・24日                      | 食物アレルギー相談日  |
| 8月  | 5日<br>21日<br>7・28日              | アレルギー対応食品お味見会<br>地蔵盆<br>食物アレルギー相談日                              |
| 9月  | 4・24日<br>11・16日                 | アレルギーの学び舎①②<br>食物アレルギー相談日                                       |
| 10月 | 2・29日<br>5・15日<br>8・28日<br>31日  | アレルギーの学び舎③④<br>食物アレルギー相談日<br>ふわふわぼっぼ（※1）<br>Mini ハロウィン          |
| 11月 | 6・26日<br>5・25日<br>11日<br>18・28日 | アレルギーの学び舎⑤⑥<br>食物アレルギー相談日<br>ケーキ・おせちお味見会<br>ふわふわぼっぼ             |
| 12月 | 3日<br>4・11日<br>7日<br>14日<br>18日 | (株)濱田商品開発モニター<br>アレルギーの学び舎⑦⑧<br>ふわふわぼっぼ<br>食物アレルギー相談日<br>クリスマス会 |
| 1月  | 15・25日<br>18・28日<br>22日         | 食物アレルギー相談日<br>ふわふわぼっぼ<br>アレルギーの学び舎⑨                             |
| 2月  | 5日<br>8・18日<br>15・25日           | アレルギーの学び舎⑩<br>ふわふわぼっぼ<br>食物アレルギー相談日                             |
| 3月  | 5・24日<br>25日<br>18・28日          | 食物アレルギー相談日<br>石井食品(株)京丹波工場見学<br>ふわふわぼっぼ                         |



食物アレルギーを楽しく学ぶ  
食物アレルギーを正しく学ぶ

ぼっぼ ALLEZ ぷろじえくと

※1 日、フランス産小麦「白目1」(「実1」といいます)。  
食物アレルギーの有害な成分が、昔ながらの「白目1」という強い  
とアレルギーの「アタ」をつたえて、アレルギーを起こしました。

「食物アレルギーかも・・・」  
「食物アレルギーって言われたけど・・・」これからどうすればいいのかな？  
「お友達や食物アレルギーなんだから」何かできるかな？  
そんな不安や疑問をみんなで一緒に学び合いませんか。  
1人より2人、2人より3人、3人よりもっともたくさん、みんなで一緒に心強いね。

| 月・日      | 科目・講師   | 内容   | 日   | 科目・講師             | 内容   |
|----------|---|--|---|-------------------|--|
| 9月5日(土)  | 食物アレルギーの基礎と治療<br>岡山 三智子<br>食物アレルギー専門医<br>京都府立こども発達支援センター 小児科医 | 食物アレルギーの基礎は近年で大きく様変わりしました。「厳格除去」から「必要最小限の除去」へ。食物アレルギーについて、発症の原因や仕組み、混乱しがちなアレルギー検査について詳しく理解します。また、検査(血液検査・負荷試験など)や治療(除去食・免疫療法など)の時期と進め方を学びます。 | 24日(木)  | レシピ紹介と栄養のお話①(米粉)  | 身近にある食材を使っています。アレルギーと一緒に食事を楽しむ、栄養バランスに配慮したメニュー提案をします。特に、乳幼児に多い「乳・卵・小麦」の除去にスポットをあて、保護者の方のリストの多い「カカオ・シソ」など「除去」を補うレシピ、「米粉の扱い方」などを簡単な実演とお話をお話をお話により行います。 |
| 10月2日(金) | 集団生活での食物アレルギー(入園・入学準備)<br>びいちゃんねっと事務局 小谷 智恵                   | 入園入学を機に、保育・給食・授業・校外学習など、食事への配慮が必要場面が多くなります。入園・入学に備えて、特異体で保護者としてしておくべき準備等を説明します。  | 29日(木)  | レシピ紹介と栄養のお話②(カカオ) |  |
| 11月6日(金) | 交流会<br>(外出・外出時の工夫)  | 食物アレルギーがあると、外出旅行には行きづらいものです。しかし、食物アレルギーがない子どもと同じくらい楽しめる機会をぜひ取りたい、そんな悩みをテーマに交流します。  | 26日(木)  | レシピ紹介と栄養のお話③(鉄)   | 生駒結実<br>管理栄養士  |
| 12月4日(金) | 交流会<br>(家族・親戚との関わり)   | おじいちゃん、おばあちゃんに食物アレルギーを説明してもらうのは、意外と難しいものです。「食べられない」「かわいそう」と思われがちで、「しつこい」の気持で食べさせてしまう事故もよく起こっています。祖父母への食物アレルギーをどの様に伝えるかをテーマに交流をします。           | 11日(金)  |                   | 「ステロイドは怖い、副作用が心配」など、まだまだ教員への理解は正しくなっていないことがよくあります。ご入会、ご入会のお話のお手入れや、外用薬の基本知識と使い方を実習を交えながら学びます。また、トリプルPの子育てのお話を交えながら「音が出る子ども」との距離の置き方などを学びます。          |
| 1月22日(金) | 災害時の備え(ポリ袋クッキング)<br>三好 英                                      | 食物アレルギーがあると、避難所、避難所での配給食は食べられない事がほとんどです。食物アレルギー対応の非常時の備え、子どもが保護者から離れて被災した時の対応に備えます。また、ポリ袋を使った非常時の食事の作り方を学びます。                                | ●時間 ●初回のみ10時～13時<br>他9講座は、10時～12時<br>●受講料 ●10講座8,000円(資料費は別途) (正会員・サポーターは5,000円)<br>●定員 ●6名<br>●保育 ●見守り保育あり・1人100円(保険料)<br>お申し込みは、メール・電話・つどい受付にて<br>※全講座受講の方は・・・<br>①当法人で、ボランティアスタッフ・インターンとしてご活躍いただけます。<br>②アレルギー大学の「医学基礎」を受講したものとみなされます。 |                   |  |
| 2月5日(金)  | 交流会<br>(子どもへのアレルギーの伝え方)                                       |  | 2月5日(金)   |                   |  |

## ★親子イベント



お花見 (京都御所)



地蔵盆



Mini ハロウィン



クリスマス会



石井食品(株)工場見学

## ★アレルギーの学び舎



基礎と治療



レシピ紹介と栄養のお話



交流会



修了証書授与



災害時の備え (ポリ袋クッキング)





★学び舎修了生による同窓会（Love ぽっぽ）

3月に、初めての集まりが企画されました。テーマは「アレルギーフリーなお菓子づくり」で、保護者の方たちが日頃おうちで作っているお菓子のレシピを持ち寄って、4種類のお菓子等があったという間に出来上がりました。アイデアを交換しながら、にぎやかに交流され、ホッとするとともに楽しかったようです。今後も、無理なく緩やかに活動を継続されるので、応援していきたいと思えます。



黒米&赤米せんべい



コーンブレッド



赤米おにぎり

★新商品開発モニタリング

サポートデスクは、食物アレルギーの取組をされている企業と消費者をつなぐ役割も果たしています。新商品の開発に伴う、モニタリングもその一つです。2015年度は、(株)濱田、石井食品(株)、全農コムックス(株)の商品開発のお手伝いをさせていただきました。新しい商品が、市場に登場するのがとても楽しみです。



石井食品(株) ランチBOX開発



(株)濱田 梅を使った商品開発



★サポートデスク運営委員会★

サポートデスクは、9月に「サポートデスク運営委員会」を設置しました。委員には、ぴいちゃんねっとの正会員・サポーター（個人・企業）にお願いし、毎月1回程度、委員会を開催しています。「どんな場所にしたいか?」「どんなことをやりたいか?」など、利用される方たちからの意見や提案を取り入れながら、運営しています。



サポートデスクは、開設から3年が経ちました。最初の2年間は、「専門性」を重視し、当事者性・びあサポート性が薄れ「支援者（職員）⇄受益者（利用者・当事者）」が進んでしまいました。その為2015年度は、双方が一体となった居場所・空間にするために、改めて「専門性」と「当事者性・びあサポート」のバランスを見直す1年間にしました。この様にサポートデスクの創成期は、手探り状態でのスタートでしたが、様々な取り組みを実施しながら検討を重ねることで、徐々に目指していた居場所になってきました。今後は、京都市のつどいの広場（京都市子育て支援活動いきいきセンター）と併設している利点を生かし、当事者の「セーフティネット」としてだけでなく、一般の子育て家庭への「社会的理解の場」としての役割も果たしていきたいと考えています。

情報発信

ぴいちゃんねっとニュースレター

2015年度は、No.22~No.33まで毎月500部を発行しました。正会員・サポーターの他に、地域子育て支援施設などに配布しています。(No.28号から、施設等には、3ヶ月に一回の配布)  
イベントの案内・報告、栄養士担当の『やさいのはなし』、医師（当法人理事）による『お医者さんからのお役立ち医療情報』、商品や企業の情報などを掲載しています。  
アレルギーっ子のお母さんたちによる表紙や漫画「しあわせのみつけかた」も大人気です。



ニュースレター発行の目的は、食物アレルギーの子どもの保護者に「一人じゃないよ」を伝えるため、びあサポート・相互支援への入口となることです。しかしながら近年は、一方通行の内容が目立ってきていました。3月発行号から、ぴいちゃんねっと創設当初より大切にしてきた「思い」を伝え続けるために、内容の見直しを行っています。2016年度も、さらに進化を続けます。

ホームページ

●<http://www.allergy-k.org/>

たくさんの情報をより詳しく分かりやすく紹介できるようにコンテンツを増やし、バージョンアップしました。  
また、バナーをクリックすると寄付やサポーター申込み画面へジャンプできるようになりました。



FACEBOOK

●<https://www.facebook.com/allergy.kyoto>



サポートデスクのリアルタイムな情報や、報告をお届けしています。ぴいちゃんねっとへの「いいね!」も800件を超えました。  
写真を豊富に取り入れた情報発信により、広く認知されてきました。  
食物アレルギー関連団体との情報提供・共有にも役立っています。

つどいの広場ぽっぽのFACEBOOKも開設しました。



●<https://www.facebook.com/つどいの広場-ぽっぽ-京都市子育て支援いきいきセンター-904055702974645/>



# 出張アレルギーの学び舎

食物アレルギーの子どもとその保護者の QOL (生活の質) の向上には、正しい知識での支援が不可欠です。2012 年度から、舞鶴市・木津川市・八幡市でその地域で支援のできる人材の育成と、保護者の学びの場を目的に食物アレルギーの学びの場「出張アレルギーの学び舎」を地域団体と協働で開催してきました。

2015 年度は、継続支援を行ってきた舞鶴市 (NPO 法人まちづくりサポートクラブ)・木津川市 (子育てサークルりんごちゃん赤ちゃんサロンみるくちゃん) の2地域で、初めて地域団体主催で「アレルギーの学び舎」が開催されることになりました。2地域ともこれまでの取組をベースに、「やってみたい」こと、「必要なこと」を考えながら講座を構成して下さいました。

両地域とも、「食べる」と「防災」がテーマとして上がりました。ぴいちゃんねっこのこれまでの取り組みの中で、「防災」は、後回しになってきた課題でもありましたが、今回は一緒に取組を進めることで「NPO 法人日本防災士会京都支部」との新たなつながりもでき、今後の防災への取り組みへの広がりも期待できる事業となりました。

### 食物アレルギーに関する方のための アレルギーの学び舎 @舞鶴

今年度の「アレルギーの学び舎」は、より身近に「食べる」をテーマに取り組みます！

| 日程 | 日時   | 会場          | タイトル・概要  | 講師                           |
|----|--|-------------|--|------------------------------|
| 1  | 平成27年 9月29日 (水)<br>13:10~15:00<br>締切:9月18日   | 西市民プラザ 料理教室 | 【つくってみよう除去食】アレルギーを心配したレシピ作りとアレルギーの知識。食生活の改善について学ぶ。「作るがい」調理実習   | 作 櫻紀かん (奥之鷹のこ シンボルジュ グラネ 代表) |
| 2  | 平成27年 10月2日 (金)<br>13:10~15:00<br>締切:10月13日  | 西市民プラザ 料理教室 | 【つくってみよう除去食】アレルギーを心配したレシピ作りとアレルギーの知識。食生活の改善について学ぶ。「作るがい」調理実習   | 作 櫻紀かん (奥之鷹のこ シンボルジュ グラネ 代表) |
| 3  | 平成27年 11月19日 (日)<br>10:30~13:00<br>締切:11月14日 | 福富会館 料理教室   | 【災害時の備え】アレルギーの備え。ポリ袋クッキング。アレルギーの備え。ポリ袋クッキング。アレルギーの備え。ポリ袋クッキング。 | 坂本 隆さん (日本防災士会 京都支部 副支部長)    |

**いっしょに作って、いっしょに食べよう!**

- 対象 食物アレルギーに関する方 (保護者・子育て支援に関わる方など)
- 定員 各回15名程度
- 参加費 各回1,000円 (食材費含む)
- 申込 定員になり次第
- 申込み 裏面の申込書、FAX (77-0508) か、西市民プラザ窓口へ提出
- 問合せ 子どもサポートクラブ (子育ての応援) ひまわりハウス
- 電話 0772-77-0102 mail: masatsuyukayaki@yahoo.co.jp

**【主催】** NPO法人まちづくりサポートクラブ (子育ての応援) ひまわりハウス  
**【協賛】** 特定非営利活動法人アレルギーネットワーク京都支部 ひいちゃんねっこ  
この事業は平成27年度京都府地域再生プロジェクト事業の補助を受けています。



～作ってみよう除去食～  
受講生は、座って学ぶ調理実習です。調理のポイントや栄養のお話をしながら、時々感触を確かめていただきながら進めていきます。講師との距離も近く、日常生活の疑問や悩みも気軽に相談できます。アレルギー用と一般の粉ミルクとの飲み比べもしました。



～災害時の備え～  
防災士の方からは、日頃からの準備と自助・共助・公助などのお話を、ぴいちゃんねっこからは、アレルギーの子どもが被災したときの状況をお話しました。また、アレルギーの子どもに優しいポリ袋クッキングにも、親子でチャレンジしました。

### 食物アレルギーに関する方のための アレルギーの学び舎 @木津川市

アレルギーの事、知ることから始めよう!

| 日時・場所                                    | 講師   |
|--|--|
| 12月5日 (土)<br>13時～15時<br>山科保健センター         | 青山 三子<br>日本アレルギー学会副会<br>長、アレルギー学講座<br>ディレクター |
| 2016年<br>2月9日 (水)<br>13時～15時<br>山科保健センター | 田中 伸一<br>日本アレルギー学会<br>副会長、アレルギー学<br>講座ディレクター |
| 2016年<br>3月8日 (火)<br>13時～15時<br>山科保健センター | 作 隆<br>奥之鷹のこ シンボル<br>ジュ グラネ 代表               |

**【対象】** 食物アレルギーに関する方 (保護者・子育て支援に関わる方など)  
**【定員】** 各回15名程度  
**【参加費】** 各回1,000円 (保険料含む)  
**【申込】** 申し込みは12月5日のみ実施。2月9日と3月8日は子どもと一緒に参加できます。  
**【問合せ】** 特定非営利活動法人アレルギーネットワーク京都支部 ひいちゃんねっこ  
**【電話】** 木津川市社会福祉協議会 FAX 0774-86-3725

**【主催】** 子育てサークルりんごちゃん・赤ちゃんサロンみるくちゃん  
**【協賛】** 特定非営利活動法人アレルギーネットワーク京都支部 ひいちゃんねっこ  
この事業は、京都府の食物アレルギー支援プラットフォームの連携事業として、平成27年度京都府地域再生プロジェクト事業の補助を受けて行う特別プログラムです。



～食物アレルギーの基礎～  
食物アレルギーの発症の仕組みや検査と治療、アトピー性皮膚炎との関係など、医師から詳しくお話しいただきました。子育て支援には、正しい医療知識は欠かせません。

～災害時の備え～  
防災士の方から、東日本大震災の時にメディアでは取り上げられなかった生々しい状況と、支援での体験をお話いただきました。子ども達も、真剣な顔つきでじっと聞き入っていました。ポリ袋クッキングも、親子で取り組み、出来上がってからのお試食ではおいしい笑顔が溢れました。

又、南丹市では、数年前から協働のお話をいただきながら、日程の調整ができていなかった NPO 法人グロウアップさんと、学び舎を開催できました。こちらの地域は、初年度ということもあり当法人が主催となり、法人職員の育成のための講座や、基礎的な講座を中心に設定しました。また、一般の方、子ども達にも食物アレルギーを身近に感じ、学んでいただけるように石井食品(株)京丹波工場への見学も講座の一つに取り入れました。「美味しく学ぶ」「楽しく学ぶ」ことも体感いただけた時間だったと思います。全回を通して、皆さん大変熱心に受講いただき京都府の中央地域での支援の場が出来ることをとても嬉しく感じました。

### アレルギーの学び舎 @南丹

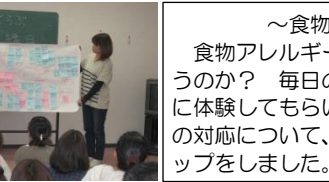
「食物アレルギーって...」  
「アレルギーって食べたけど...これらどうすればいいのかな?」  
「お友達のアレルギーって...何がわかる?」

そんな不安や疑問をみんなで一緒に学びませんか?  
食物アレルギーに関する方 (保護者・子育て支援に関わる方など) と一緒に参加してください。

| 日程 | 日時                              | 会場          | 講師                           |
|----|---------------------------------|-------------|------------------------------|
| 1  | 平成27年 9月29日 (水)<br>13:10~15:00  | 西市民プラザ 料理教室 | 作 櫻紀かん (奥之鷹のこ シンボルジュ グラネ 代表) |
| 2  | 平成27年 10月2日 (金)<br>13:10~15:00  | 西市民プラザ 料理教室 | 作 櫻紀かん (奥之鷹のこ シンボルジュ グラネ 代表) |
| 3  | 平成27年 11月19日 (日)<br>10:30~13:00 | 福富会館 料理教室   | 坂本 隆さん (日本防災士会 京都支部 副支部長)    |

**【対象】** 食物アレルギーに関する方 (保護者・子育て支援に関わる方など)  
**【定員】** 各回15名程度  
**【参加費】** 各回1,000円 (食材費含む)  
**【申込】** 申し込みは12月5日のみ実施。2月9日と3月8日は子どもと一緒に参加できます。  
**【問合せ】** 特定非営利活動法人アレルギーネットワーク京都支部 ひいちゃんねっこ  
**【電話】** 木津川市社会福祉協議会 FAX 0774-86-3725

**【主催】** 子育てサークルりんごちゃん・赤ちゃんサロンみるくちゃん  
**【協賛】** 特定非営利活動法人アレルギーネットワーク京都支部 ひいちゃんねっこ  
この事業は、京都府の食物アレルギー支援プラットフォームの連携事業として、平成27年度京都府地域再生プロジェクト事業の補助を受けて行う特別プログラムです。



～食物アレルギーの子どもと支援～  
食物アレルギーの子どもの子育てが、どうして辛く思うのか? 毎日の食事に制限があるということを実際に体験してもらいながら、子ども対象のイベントなどでの対応について、2つのグループに分かれてワークショップをしました。



～基礎と治療～  
食物アレルギーの発症の仕組みや治療について、医師より基礎から詳しくお話いただきました。

～毎日のスキンケア～  
食物アレルギーエドゥケーターから、毎日のスキンケアの大切さを実習を交えながら教えていただきました。石鹸の泡立ちの方法や質、軟膏の適切な量など、実際に目で見て、手で触ってみることで驚きもたくさん生まれていました。

～工場見学～  
子どもたちもたくさん参加してくれました。お友達の「食物アレルギー」を子どもらしい感性でしっかりと受け止めていました。



## 食物アレルギー支援プラットフォーム

食物アレルギー支援の為に検討会（プラットフォーム）は、2014年7月にスタートしました。2015年12月25日に施行されたアレルギー疾患対策基本法ですが、遡ること半年前に、京都府の関係部局へ対策の予定をうかがいに行ったことがきっかけとなって設置することができました。京都府から子育て政策課・健康対策課・府民力推進課、京都市から児童家庭課・保健医療課、加えて、舞鶴市・宇治市・南丹市・木津川市などの長年子育て支援活動をされているNPO法人からも多数参画をしていただきました。

食物アレルギーは、医療面では研究が進み標準治療も確立されてきました。また、公的機関・施設（保育園・幼稚園・学校等）での制度や仕組みは、びいちゃんねっと創設当時に比べると、見違えるように整ってきました。しかしながら、保護者から聞こえてくる「わかってもらえない」「思いを共有できる場所が欲しい」などの声は、この10年余りの間全く変化がありませんでした。食への制限は、直接日常生活への制限にもつながってきます。食事は、単に「食べる」ということだけでなくコミュニケーションツールでもあるからです。この様な背景がありながら、食物アレルギーへのメンタル面への支援の仕組みはありません。

私たちが実施しているアレルギー大学や出張学び舎の事業は、この様なメンタル面の支援ができる場と人材の育成を目的に、正しい知識の普及と適切なサポートが行える様に実施してきました。しかしながら、京都府域での出張学び舎、京都市内の子育て関係施設・機関から講座依頼は、実施希望の地域や施設が多く、当法人単独では対応しきれない状況にもなっていました。

その為このプラットフォームでは、各施設が抱える運営への課題を解決するために、子育て支援施設で求められている支援のあり方を官民両者で検討を重ねていくことを目的としました。

### ●子育て支援施設・機関、当法人が抱える課題●

- ・京都市内35箇所設置のつどいの広場は、京都市から事業を委託された管理者（団体・個人）での自由な運営とされてきました。限られた財源で、地域の保護者による運営が多く、様々な病気や障がい等、特別な配慮が必要な子ども・保護者への対応のスキルはありませんでした。各施設では、その体制への問題を意識しながらも、団体内で職員への研修制度もなく、また京都市等からの研修実施もありません。一方、私たちへの講師依頼も無償のことも多く、その体制では早々にも両者共に体力が続かないことが予測されました。
- ・びいちゃんねっとが実施している京都府域での出張学び舎事業は、京都府の地域力再生交付金より実施しています。この交付金は、全体の事業費から2/3を助成するもので、実施すればするほど当法人はマイナス決算となっていました。また、開催希望施設が年々増加傾向にあり、マンパワー不足から実施できない地域も出てきていました。

2日目にはいったプラットフォームでは、京都市内で実施しているアレルギー大学、サポートデスクで実施しているアレルギーの学び舎、京都府域で開催してきた出張学び舎の各講座に、自治体・子育て支援団体が視察・見学できる仕組みをつくり、実際の様子を見て、どんな対応が必要なのかを検討することになりました。各地域（京都市・舞鶴市・木津川市・南丹市）で、多くの方々に視察・見学をいただき、参加者には支援対策へのアンケート等にご協力いただきました。



舞鶴市での視察風景



南丹市での視察風景



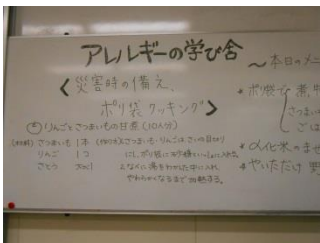
アンケート

### ※参考

（アレルギー疾患対策基本法第十三条）  
都道府県は、アレルギー疾患対策基本指針に即するとともに、当該都道府県におけるアレルギー疾患を有する者に対するアレルギー疾患医療の提供の状況、生活の質の維持向上のための支援の状況等を踏まえ、当該都道府県におけるアレルギー疾患対策の推進に関する計画を策定することができる。

1年半のプラットフォームでは、つどいの広場等子育て支援の入口である場所で求められている「メンタル面のサポート」「びいサポート」の大切さを全員で共有できたと思います。今後は、これらの結果をもとにした私たちの提案を、自治体がどの様に展開されていくのかを見守っていきたくと思っています。（プラットフォームは、2015年度で終了となります。）

## 防災



アレルギーの学び舎（舞鶴・木津川・サポートデスク）での防災講座



京都府 NPO リレーションズ

防災事業については、これまであまり積極的な取組をしてきていませんでした。2015年度は、舞鶴や木津川の出張学び舎で要望が多かったことがきっかけで、本格的な取組をスタートしました。事業の実施にあたっては、「自助・共助」の大切さを伝えていくことに重点をおき、京都府内で活動を展開されている防災士の方に協力いただきました。アレルギーの有無に関わらず、日頃からの「備え」は必要ですが、その大切さや被災地での実際の様子を伝えていただいたことで、受講者だけでなく私たち職員も、改めて防災事業の大切さを学びました。

また、京都府が主催する「災害復興支援 NPO リレーションズ」のワークショップにも参加し、被災時に一般の支援物資が食べられない食物アレルギーの子ども達の困難さを報告する機会もいただきました。

ひと度災害が発生すると、予想の範囲を超えたことが起こります。そんな時、一番大切なのが「自助」と言われています。特に食物アレルギーがあると、一般の支援物資は食べることができません。私たちの実施する防災事業は、食物アレルギーの子ども達の家族に「自助」の大切さを丁寧に広げていくと同時に、地域社会に「共助」の仕組みができる様に、今後も地域団体・防災士会等と連携しながら防災事業の充実を図りたいと思います。

# アレルギー大学

2014年度から京都でもスタートした『アレルギー大学』。1年目開講の基礎・初級コースに加え、2年目となる2015年度は中級コースの講座も一部開講しました。

昨年度は大半の講座を名古屋からの講師をお願いしていましたが、今年度は全て京都の先生に担当いただき、順調に京都主体の実施体制へ移行しています。実習講座3講座を含め12講座を開催し、受講者数は延べ179名でした。昨年度よりわずかに増加しました。



## ●実施講座一覧●

| 開講日         | 講座名/タイトル                       | 講師   | 内容  | 受講者数 |
|-------------|--------------------------------|--|---|------|
| 6/13<br>午前  | 医学-基礎<br>アレルギーの基礎              | 京都府立こども発達支援センター 小児科医長<br>京都府立医科大学附属病院 小児科アレルギー外来担当医<br>日本アレルギー学会専門医 青山 三智子 氏 | 「アレルギーとは?」「どうして起きるの?」などアレルギーの基礎について学びます。                  | 18   |
| 6/13<br>午後  | 食品学-基礎<br>食品学の基礎               | 京都府立大学 生命環境科学研究科<br>食品科学研究室 教授<br>中村 考志 氏                                    | 食品に含まれるアレルギー物質について学ぶために、食品・栄養学の専門的な言葉を理解・整理する基礎講座です。      | 19   |
| 7/12<br>午前  | 医学-I<br>食物アレルギーの臨床             | 田辺中央病院 小児科医員<br>京都府立医科大学附属病院 小児科アレルギー外来担当医<br>上原 久輝 氏                        | 「食物アレルギー」の診断や症状、治療法について学び、エビソンの射ち方や緊急対応についても学ぶことが出来る講座です。 | 17   |
| 7/12<br>午後  | 食品学-I<br>アレルギーの基本              | 京都女子大学家政学部<br>教授 農学博士<br>成田 宏史 氏   | 食品学基礎の復習と、体内の免疫の働きに触れつつ、アレルギー物質がどのように消化し吸収されていくのかを学びます。   | 13   |
| 7/26<br>午後  | 栄養と献立-I<br>栄養と献立               | 京都市立小学校栄養教諭<br>栄養士 金井 多恵子 氏  | 栄養素のバランスについてと献立作成の基本を学ぶ講座です。アレルギー対応食と献立のポイントについて理解を深めます。  | 13   |
| 8/30<br>午前  | 発達とアレルギー①<br>食育とアレルギー①咀嚼       | きょうこ歯科・矯正歯科 院長<br>松井 恭子 氏  | 食の楽しさについて学ぶなかで重要な歯の役割、咀嚼について学びます。                         | 20   |
| 8/30<br>午後  | 発達とアレルギー②<br>食育とアレルギー②食育       | 藤森センターほっこり<br>放課後ディサービス「にじっこひろば」センター長<br>保育士 辻 益美 氏                          | アレルギーの原因ともなる食物ですが、その関わり方や食育について学びます。                      | 19   |
| 9/27<br>全日  | 離乳食実習<br>離乳食のすすめ方              | 食と農のコンシェルジュ graine 代表<br>栄養士 伴 亜紀 氏  | 離乳食のすすめ方やアレルギーを発症した場合の対応、アレルギーに配慮した離乳食までを講座と実習で学びます。      | 14   |
| 10/18<br>全日 | 調理実習-I<br>卵・乳に対応した給食           | 食と農のコンシェルジュ graine 代表<br>栄養士 伴 亜紀 氏  | 調理実習により、実際のアレルギー対応食を学びます。基礎・初級では、卵・乳に対応したメニューでの実習を行います。   | 13   |
| 11/8<br>午前  | 医学-III<br>アトピー性皮膚炎の治療と対応       | まつもとクリニック 院長<br>松本 哲宜 氏  | アトピー性皮膚炎に特化した講座。症状、病態、治療法を中心に日常生活で必要な対策について学びます           | 11   |
| 11/8<br>午後  | 医学-IV<br>ぜん息・鼻炎・花粉症など疾患別の治療と対応 | 宇治武田病院 アレルギー科部長<br>日本アレルギー学会専門医 藤本 雅之 氏                                      | 主に気管支ぜん息について学ぶ講座。疾患の症状、病態、治療法を中心に予防法や対策についても学びます。         | 10   |
| 11/15<br>午前 | 医療研修<br>医療手段「スキンケア(アトピー性皮膚炎)」  | 滋賀県立小児保健医療センター<br>看護師 斉藤 就美 氏  | 講座受講に実習を織り交ぜ、スキンケアでの留意点を体験しながら学びます。                       | 12   |

## ●講座の様子●



今年度も昨年度同様、幅広い年代から日々食物アレルギーに関わる受講者が集まりました。職業は栄養士、調理師、幼稚園教諭、保護者の方など様々で、それぞれの立場から必要な知識を得ようという意欲がひしひしと感じられました。一部ではありますが、中級コースの講座も開催し、前年度基礎・初級コースを修了した受講者も昨年に引き続きの受講となりました。

## ●アレルギー大学実行委員会●



全講座の終了後、講師の先生方にお集まりいただき、アレルギー大学実行委員会を開催しました。アレルギー大学の受講者は、ほとんど全ての方がコースでの受講です。その為、講師の先生たちの連携はとても大切です。委員会では、担当された講座についての感想をいただき、担当以外の講座も含めて活発な意見交換をしていただきました。

また、2016年度第11期アレルギー大学に向けて、講座内容・広報などの検討も行いました。先生方からは、他講座の聴講をしながら、流れのある講座作りをしていきたい等、積極的な意見をたくさんいただきました。11期は、中級コースも全講座開講します。新たな講座の講師の先生も、この委員会でご紹介などをいただき、充実した講師陣となりました。今後も、講師の皆さんに力をお借りしながら、京都でのアレルギー大学をさらに成長させていきたいと思っております。

## ●受講者の声●

- ・アレルギーの基礎について詳しく学べた。
- ・写真や動画など、わかりやすい媒体で理解しやすかった。
- ・受講生同志の交流でいろいろな方といろいろな話ができて、嬉しかった。
- ・質疑応答が丁寧で、大変参考になる話が多かった
- ・調理実習で実際に作って味わうことで理解が深まった。

2年目を迎えたアレルギー大学でしたが、まだまだ受講者数は少なく広報不足を痛感します。しかしながら年々講座数も増え、食物アレルギーへの理解を深めてもらうための重要な機会として、講師の先生方にも協力をいただきながら、ますますの充実を図り、さらなる当事者支援と支援者養成の活動に取り組んでいきたいと思っております。



## 講師・委員会等

### 【講師・監修】

- アレルギーの学び舎@木津川（りんごちゃんみるくちゃん）  
7/9 2015年度 出張学び舎 事前打合せ  
12/5 第1回「食物アレルギーの基礎（臨床と治療）」開催監修  
※食物アレルギー支援プラットフォーム見学（京都府）  
12/17 防災講座事前打合せ  
2/9 第2回「災害時の備え（ポリ袋クッキング）」開催監修  
※食物アレルギー支援プラットフォーム視察（京都府）  
3/8 第3回「レシピ紹介と栄養のお話」開催監修  
※食物アレルギー支援プラットフォーム視察（京都府）
- アレルギーの学び舎@舞鶴（まちづくりサポートクラブ）  
8/3 2015年度 出張学び舎 事前打合せ  
9/29 第1回「レシピ紹介と栄養のお話（米粉）」開催監修  
10/20 第2回「レシピ紹介と栄養のお話（カルシウム）」開催監修  
※食物アレルギー支援プラットフォーム視察（京都府）  
11/17 防災講座事前打合せ  
11/29 第3回「アレルギーっ子の防災・ポリ袋クッキング」開催監修  
※食物アレルギー支援プラットフォーム見学（京都府）  
2/3 2015年度学び舎振り返り
- 京都市東山区ユニバーサルデザイン（京都産業大学松高ゼミ）  
4/27 食物アレルギー対応メニュー試食会（浅川亭にて）  
5/21 「にっこり東山」冊子監修・イベント打合せ  
7/9 第3回おもてなし学校 監修・講師
- 京都市中京子ども支援センター  
11/20 中京区子育て支援者交流会・研修会（パネラー・ワーク進行）  
12/17 ベビースサポート広場講師「心配しないで食物アレルギー」
- その他自治体・学校等  
7/27 同志社大学社会福祉学部社会福祉学科 3回生ゼミ  
9/10 花背小中学校研修会（8/19 事前打合せ）  
10/23 京都府府民力推進委員研修（テーマ：プラットフォーム）
- 京阪グループ  
9/8,28,10/7,11/9,12/14,1/17  
マニュアル作成・職員研修打合せ  
2/12,3/1,3,4（京都タワーホテル）  
職員研修講師 「食物アレルギー対応とリスク管理」  
3/10,11（琵琶湖ホテル（滋賀））  
職員研修講師 「食物アレルギー対応とリスク管理」  
3/14,15（ホテルユニバーサル（大阪））  
職員研修講師 「食物アレルギー対応とリスク管理」
- その他企業・団体等  
4/23 順正・おかべ屋 「食物アレルギーへのリスク管理」  
7/13 （一社）食物アレルギー対応サポートデスク設立記念セミナー  
8/27 京滋奈 BMC 納涼会「食物アレルギーの基礎とリスク管理」  
2/27 より豊かな学校給食をめざす会  
第1分科会「学校給食の充実と食育」パネラー

### 【委員会】

- 山城南地域子育て支援関係者連絡協議会  
5/19,7/28,10/6,11/18,1/25  
山城南地域子育て支援関係者連絡協議会  
11/29 山城南子育てフェスタ開催（食物アレルギー講座・相談）
- 京都市市民活動総合センター運営委員会  
6/18,10/5,3/4 運営委員会
- 京都府おこしやすプロジェクト委員会  
10/14 第1回プロジェクト委員会（※第2回目は欠席）

### 【出展】

- 看護フェスタ（（公社）京都府看護協会主催）  
5/9 食物アレルギー相談ブース担当
- ふれあいらんど（伏見区地域子育てステーション事業）  
6/9,7/7,11/16 ふれあいらんど実行委員  
6/26,11/27 ふれあいらんど開催 相談コーナー担当

### 【商品開発・モニタリング】

- 京都産業大学  
9/17 学生食堂 アレルギー対応キャンペーン試食  
（10/5～9 学生食堂 アレルギー対応キャンペーン実施）
- 石井食品㈱  
4/5,9/25,3/5 新商品（ランチBOX）開発モニタリング  
10/27 本社コミュニティハウス音楽会
- 榎濱田・QOL トラベル  
4/17,5/13 新商品開発事前打合せ  
6/27,12/3 新商品モニタリング

### 【行政関係】

- 食物アレルギー支援プラットフォーム（京都府）  
6/4 2015年度 事前打合せ（子育て政策課）  
7/21 プラットフォーム 会議事前打合せ  
7/22,3/22 プラットフォーム会議
- 京都府職員 NPO 短期研修  
9/17 事前打合せ  
10/18,11/6,11/12 京都府職員インターン受け入れ
- その他  
8/3 災害復興支援 NPO リレーションズ（京都府）ワーキング会議  
9/10 岩倉北学区 事業打合せ（京都市文化市民局）  
10/15 京都府教育委員会懇談（2016年度学校マニュアル作成）

### 【その他】

- 4/2 αステーション ハッピーNPO 出演（4/5 放送）
- 4/10 イオン五条 イエローシート贈呈式
- 5/8 オムロン㈱ オムロンティーでの活動紹介と作業への協力

## ～ オムロンボランティアティ ～

オムロン㈱さんでは、創立記念日を社員全員で社会貢献を目的にボランティアを行う「ボランティアティ」とされています。今年は、5月8日  
がその日で、京都市市民活動総合センターを通じて当法人に活動紹介の機会と日常活動へのご協力のお時間をいただきました。

「食物アレルギーをご存知でしょうか？」と、活動紹介の冒頭にお尋ねすると全員の方が既に「知っている」という状況でした。これは、10年前に私たちが活動を始めた頃と比べると驚くべきことです。けれども、「何故私たちが支援活動を行うのか」につながる「アレルギーの子どもの子育て環境の困難さ、保護者の心労」の理解までは至っていません。そこで、

- ・食事の制限は日常生活の制限にもつながること。それは、食事が単に「食べる」ということだけでなく、コミュニケーションツールであり、日常の生活であるから
- ・治療の基本が症状の出る食材を除いた食事であり、配慮食材は高額ではあるが、医療・療育への補助がないこと

・園や学校からの緊急時における待機依頼や、治療・検査に時間を費やすため、母親の職場復帰が厳しいこと  
など、福祉行政の狭間であることを説明させていただきました。その後は、実話をもとにした食物アレルギーの子どもたちの本音と笑顔がたくさん  
つまったスライドショーをご覧いただきました。活動へのご協力は、

- ①毎月発送しているニュースレターの発送作業 ②絵本棚の作成 ③「ボタン付け」おもちゃ作成

の作業をしていただきました。皆さん、腕まくりをしながら一生懸命作成くださいました。作業中も、各テーブルで更に詳しいお話をする機会もあり、皆さんに熱心に関心を寄せていただきました。社員の方の中には「うちの子が」「友達が」と身近に食物アレルギーの子どもの保護者の方もおられました。この日が「点」として1日だけに終わるのではなく、社員皆さんの職場やお住まいの地域での理解や対応に繋がるきっかけとなる様にと願っています。ニュースレターはその日のうちに発送し、おもちゃや本棚はサポートデスク・つどいの広場で使用しています。



## つどいの広場

全国初となる食物アレルギーに配慮したつどいの広場は、京都市子育て支援活動いきいきセンターつどいの広場事業の委託事業です。現在の場所に移転した4月28日の開所以来、11ヶ月で来所者数は2,600人を超え、0歳～3歳児の親子が集える場所として定着してきています。他施設からの紹介で来所される方、HPからの問合せや食物アレルギー相談から来所につながるケースもあります。

食物アレルギーのことを気兼ねなく相談できる「食物アレルギー相談日」、アレルギーだけでなく様々な事情で大勢の中で過ごすことが困難な親子の居場所として「ふわふわぼほの日」、管理栄養士スタッフによる「離乳食相談」（7～11月）なども実施しました。特に食物アレルギー相談については相談日だけでなく、来所の際に、食物アレルギーへの漠然とした不安や心配を抱えた保護者が日常的に気軽に相談されるようになってきています。

### つどいの広場企画

- 公園であそぼう 5/2
- 赤ちゃんの柔らか抱き方教室 (6/10、9/9)
- ハグモミでほくしっこ (8/31、12/10)
- ベビーヨガセラピー (9/29、11/13、11/27、12/2、12/16、1/21、2/4、2/19、3/3)
- 関係機関との連携事業
  - \*聚楽保育所…  
出張つどいの広場～保育士さんといっしょ (7/8)
  - \*中京消防署…  
乳児・小児救急講座 (7/13)
  - \*中京保健センター…  
赤ちゃんの健康教室～初めての冬の迎え方 (11/16)



赤ちゃんの柔らか抱き方教室



赤ちゃんの健康教室



保育士さんといっしょ



乳児・小児救急講座

つどいの広場を昼間に過ごす第2の我が家のようにリピートする利用者は多いものの、一般の乳幼児の保護者の食物アレルギーへの理解はまだ浅く、サポートデスクとの共通イベント「地蔵盆」「ハローウィン」「クリスマスパーティ」などに利用者の参加を取り込むことがほとんどできませんでした。サポートデスクを利用する食物アレルギー当事者との間にはまだまだ距離があります。しかしながら、広場で受けた食物アレルギー相談は相談全体の約45パーセントと半数近く(38/86件)を占めており、市内他34か所の広場と比較すると大変高い割合となっています。今後は食物アレルギーをもっと身近に感じてもらえるような内容をプログラムに盛り込み、食物アレルギーへの理解が自然な形で浸透していくよう、社会的理解の場として食物アレルギーに配慮したびいちゃんねっとらしい、かけはしの役割を担うつどいの広場へと成長していくことが課題です。

## サポーター募集のご案内

びいちゃんねっとの事業・活動は、「食物アレルギーの子どもと保護者のQOL(生活の質)の向上」を目的に行っています。これには「当事者支援」と「支援者支援」の両方の支援が大切だと考えています。安心して、継続した支援を行うには、皆様からの資金面でのサポートが大きな力となります。



### 正会員・サポーター ってなあに？

びいちゃんねっとの事業・活動・理念に賛同し、支援して下さる個人・団体です。サポーターの皆さんの協力で、患者家族や教育現場などで子どもたちを受入れる方たちへの支援もできます。

#### ●正会員費・サポーター費●

|          |       |         |
|----------|-------|---------|
| ●正会員     |       | 10,000円 |
| ●個人サポーター | 個人    | 3,000円  |
|          | 団体    | 5,000円  |
| ●企業サポーター | 企業    | 30,000円 |
|          | 個人事業主 | 10,000円 |

- ・会員・サポーターの方全員に、サポートデスクでのイベント案内など、様々な情報を掲載した、毎月発行のニュースレターを郵送します。
- ・安否確認システム登録の方には、安心米(わかめ)と、緊急時情報カードをお渡しします。
- ・正会員の方は、当法人の総会での発言権・議決権を有し、当法人の事業・活動を実施・運営することができます。
- ・企業サポーターの方は、サポートデスクを商品のモニタリングや広報などご自由にご利用いただけます。

### 会員 サポーター になると？

### どんなことに 役立つの？

- 5,000円で… ♥月刊ニュースレター300部が発行できます  
♥HPやSNSでリアルタイムな情報の発信ができます
- 10,000円で… ♥被災した食物アレルギーの子ども1人に1週間分の食料物資が届けられます
- 30,000円で… ♥食物アレルギーの知識や理解を深めるセミナーや講座が1講座開催できます